

【整形外科で使用するスクリューの基本】

＝ 2種類の分類 ＝

- 〔 コーティカル スクリュー（皮質骨用）
- 〔 キャンセラス スクリュー（海綿骨用）

*ネジ山を切るためのタップという道具の種類も違うので注意！
 *通常のネジは先端に”刃”が付いており、タップを切らずに直接ねじ込むことができる（セルフタップ）
 *セルフタップでないスクリューを入れるときには、タップ（ねじ切り）が必要。



コーティカル

キャンセラス

- 〔 キャニュレイテッド スクリュー（中空タイプ）
- 〔 ソリッド スクリュー（中空ではなく普通のネジ）

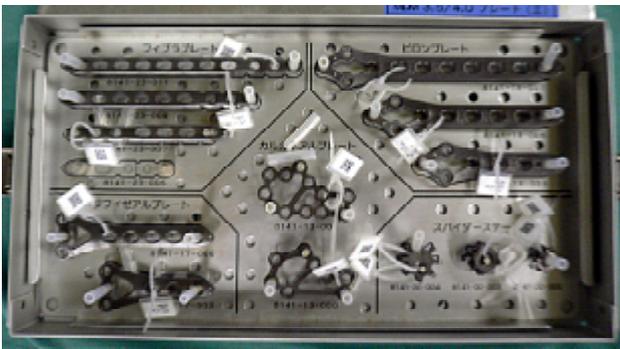


ソリッド

キャニュレイテッド

*キャニュレイテッドとソリッドでは、使う器械が異なっている
 ので注意。詳細は次ページ以降を参照。

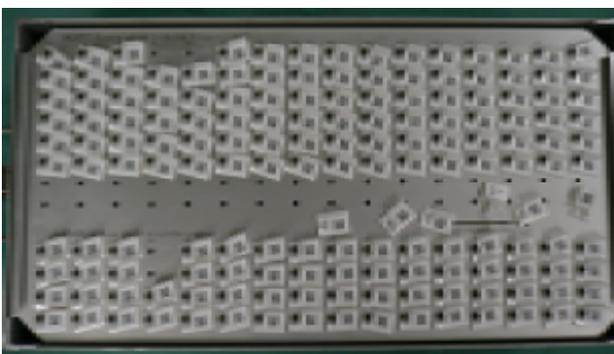
借り物器械セット（MDM 3.5/4.0mm スクリューシステムの場合）



プレートセット



キャニュレイテッド スクリューセット



ソリッドスクリュー



ソリッド用器械セット

キャニュレイテッド スクリューを入れる手順

- ①ミニドライバーにガイドピンを付け、ガイドピンガイドを通しておく。
- ②ガイドピンの打つ（ピンは残したままミニドライバーを外す）
- ③ミニドライバーをチャックに替え、中空ドリルをつけて、ガイドピンに沿わせてドリリング
- ④中空用デプスゲージで深さを計測
- ⑤Dr. 指示の長さのスクリューを選び、ドライバーに付けて渡す。（ネジを落とさないように注意！）

*セルフタップになっていない場合はスクリューを入れる前にタップを切る



ガイドピンガイドにガイドワイヤーを通したところ



骨に刺さったガイドワイヤーの長さをデプスゲージで測る



キャニュレイテッドスクリューを入れるときに使う 借り物器械

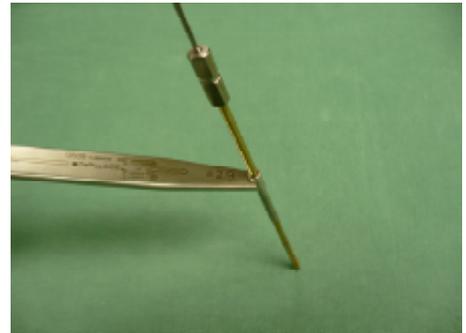
（上から）ガイドピンガイド、ガイドピン、ドリル、
デプスゲージ、ドライバー



ガイドワイヤーに沿ってスクリューを入れていく。



ミニドライバーにドリルを付けるとき、太くて入らない場合は借り物セットに入っているアダプターをつける。



ガイドワイヤーを入れたままドリルでドリリングする

ソリッド スクリューを入れる手順

- ①ミニドライバーにドリルをつけ、ドリルガイドを装着した状態でDr. に渡す。
- ②デプスゲージで深さを確認
- ③Dr. 指示の長さのスクリューをドライバーにつけて渡す。

*セルフタップになっていない場合はスクリューを入れる前にタップを切る



ソリッドスクリューで使う借り物器械類
(上から)ドリルガイド、ドリル、デプスゲージ、ドライバー

～ その他 ～



ワッシャー
スクリューと一緒に使うことがある。皿形と平らなのがある。向きがあるので注意。印字面が上。



デプスゲージ2種類
(上) ソリッド用
(下) キャニュレイテッド用



プレートとベンダー
プレートは骨の形状に合わせてカーブを付けてから付ける。プレートを曲げる器械をベンダーという。いろいろな形状のものがあるが写真のようなものをよく使う。先端の隙間にプレートを挟んで、両手で曲げる。

【参考】：

1. cannulated…cannulateの過去分詞形。定義はintroduce a cannule or tube into
2. ソリッド:solid…固体の、中身のある、密で硬い
3. 皮質cortex (ns), cortices (np), cortical (a), cortico-《接頭》
4. 海綿状spongiform (a), spongy (a), sponge (a), cancellous
5. デプスゲージ:depth gage 直訳すると「深さ計」
5. ベンダー:bend + er 曲げるためのもの